

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		乳幼児医療費助成事業費〔乳幼児医療費助成事業〕									
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	事業番号	6
事業の種別		☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乘せあり)									
担当部署・課長名		子育て支援			課	手当・助成			係	課長名	新海 隆弘
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施 策 番 号		2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進							総 合 計 画 書 (ページ)		59		
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 乳幼児の保護者				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 乳幼児（3/31時点0～6歳）の人口						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 乳幼児に係る医療費の一部を助成することにより、乳幼児の保健の向上と健やかな育成を図る。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 医療費助成額						
	→										
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。 ①申請受付 決定後 ②所得調査 ・現金給付、現物給付処理 ③審査 ・更新処理・医療証送付 ④決定・医療証送付 ・消滅処理				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 受給乳幼児数（3/31時点）						
	→										
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	4,933	4,747	4,626					
	成果指標	②の数値	円	149,269,060	148,587,366	109,065,556					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方									
活動指標		③の数値	人	4,964	4,823	4,482					
3 経費	事 業 費（実績）		円	155,506,473	154,510,035	113,349,145	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,380,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	75,036,473	74,423,035	53,271,145					
		特定財源	円	80,470,000	80,087,000	60,078,000					
	(うち受益者負担)		円								
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
	職員人件費(再任用以外)	円	4,122,000	4,155,000	4,190,000						
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費＋人件費		円	159,628,473	158,665,035	117,539,145						
4 環境変化等	(1) 開始年度		H6 年度								
	(2) 環境の変化 平成6年1月施行 乳幼児を養育している者に対し医療費の一部を助成し、保健の向上と底やかな育成を図り、子育ての支援をするために開始された。 少子化が進むなか、子育てしやすい環境づくりをするための事業施策が進んできた。										

事業名称	乳幼児医療費助成事業費〔乳幼児医療費助成事業〕				
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係	課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 病院での案内や、出生時の市民課の案内により、周知されている。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 該当なし				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） マニュアルを更新する必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 事務フロー等の見直しを進め、マニュアルを更新した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） より効率的かつ適正に事務の執行ができるよう、システムの運用や事務フロー等の見直しを進める。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 適正な窓口受付、事務の執行				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし				